

顧客に”最適“を提案する バネのコンサルタント

納期相談
企画力自信有
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



同社のバネ製品

業務内容
多様な業種へさまざまな
サイズ、形状のバネを提供

「バネはニシト」の愛称で親しまれて70余年。「バネのコンサルタント」として、設計や製造部門をはじめ多くの顧客に最適なアドバイスや提案を行ってきた。扱う品種は圧縮バネや引張りバネ、ねじりバネなど多種多様。産業機械や建築金物、事務機器などの構成部品として広く提供している。

多くの協力工場と提携し、さまざまなサイズや形状、強度のバネを独自の工夫で製造する。多品種少量生産に軸足を置き、今まで手がけた製造データを駆使して加工速度の向上を図る。近年ではポンプ部のバネ開発に携わったことから医療用ボトルホルダーの製品化にも関与している。

強み
多様なニーズに適切な
製品を提供する技術力

バネの選定は設計者の考えで決定し、素材や形状、仕様などさまざまな要望が来る。同社の強みは、それらの要請に応じて、適切な製品を提供する技術力にある。材料研究とともに難加工材の製品化にも挑戦し、耐熱材を使ったバネ加工など、厳しい開発ニーズにも技術と経験の蓄積で応えている。

また、同社は1級金属ばね製造技能士5名を有し、検定試験では大阪府知事賞や大阪府職業能力開発協会会長賞などの受賞歴がある。さらに業界が実施する技能検定講習の主席講師を20年以上務めるなど、高い技術力と製品力を培う強固な基盤を継承している。

開発思想
顧客の課題解決のために
技術力を伸ばす

技術開発は「顧客の製品開発に携わり、互いに利益をもたらす」ために行うものであると、西尾光弘社長は考える。技術力の向上には

「良い機械を導入すれば完結するものではなく、常に顧客の課題に挑戦するひたむきな研究と実践を積み重ねていく必要がある」と説く。また、業界および顧客の成長過程において、安定的な量産化への支援も重要な役目とする。

現在では、顧客や協力企業とのネットワークを生かし、製品試作・開発の分野へ領域を拡大。バネが採用されている縁から、金属加工や溶接、塗装など、製品組立以前の分野まで相談を受け開発提案を行っている。

今後の展望
無理無駄を避け、
堅実な挑戦で成長を目指す

100年、200年続く長寿企業を目指す。西尾社長はそのために「無理無駄な経営をしないことが肝要。無理無駄と挑戦の境目を見極めることが重要だ」と自戒する。機構部品であるバネは試作分野の課題に挑戦し採用域を広げれば生き残れるはずだ。

70年にわたる「ニシト」の成長は、堅実な挑戦が原点にある。今後は医療や福祉介護など伸長を見込む事業分野が視野に入る。一方、同社は、開発した研磨機など独自技術の特許を申請しない。求められる技術は公表し日本のものづくりの発展に寄与。「そこで高度化された技術を再活用することで自社の成長を求めていく」考えだ。



大半が少量多品種オーダー



手作業で均一に巻いて行く

当社の歴史



創業当初はミシンのカムに使うバネを始め、電化製品向けやシャッター用のバネを大量生産していました。その後、高付加価値バネの開発や生産依頼が増え、主力を多品種少量生産に移行しました。現在はデータの蓄積で“職人の勘”を数値化し、無駄のない製造工程を実現しています。

技術責任者 西尾 光司さん

<http://www.nishito.com/>

主な事業内容

金属バネ製造、アルコール用ボトルホルダー製造、その他金属加工

主な取引先(納入先)

産業用機械メーカー、建築金物メーカー、オフィス機器メーカー

住所

〒537-0002
大阪市東区
深江南3-9-29

TEL 06-6975-2410
FAX 06-6975-2410
創業 昭和21年8月
設立 昭和25年8月
資本金 5,000万円
従業員 18名

大阪29